

CASE STUDY 事例紹介



AI 画像診断による 医師の診断支援

NTT データと NTT DATA Services は、放射線科医による医療画像の診断を AI で支援するソリューションを開発しています。脳出血や肺気腫等の疾病に対し、AI で患者の医療画像を分析し、疾患の可能性のある箇所を示す本ソリューションは、アメリカ、インドでの実証実験を通じてその効果が確認されました。一方で、気候、生活習慣、食習慣により、国や地域で発生する疾病に違いがあるため、どの国、地域でも利用できる IT による診断支援の実現を目指し、複数か国での実証実験を続けていきます。



成田空港における地磁気を用いた 高精度屋内測位

NTT データは、成田国際空港ターミナルで高精度かつリアルタイムに位置情報を提供できる空港ナビゲーションアプリ「NariNAVI®」を開発しました。本アプリケーションでは、屋内測位技術として「地磁気測位」を活用し、リアルタイムで高精度な現在地表示を可能にしています。また、地図表示には「2.5D 地図」を採用し、複数フロアを立体的に表示した直感的に分かり易い表現を実現しています。これらにより、空港という広大な空間での利用者の円滑な移動を支援します。

NTT DATA Technology Foresight とは

革新を続けるテクノロジーは、社会のしくみを未来へ前進させるとともに、既存のビジネスモデルをも新たなステージへと導いていきます。デジタル化が進み、社会変革の次なる出発点にある現在において、最適な経営判断を行い、企業活動を継続・発展させていくためには、将来変化を捉え、進むべき道を解き明かすことが重要です。

NTT DATA Technology Foresight は、今後 3 年から 10 年の間に社会やビジネスに大きなインパクトをもたらす先進技術や社会動向を継続的に調査し、調査結果から導き出したテクノロジーがもたらす将来変化を予見したトレンド情報です。

NTT データでは、NTT DATA Technology Foresight を起点に、お客様とともに将来を見据えた新しい価値を創造し、より豊かで調和のとれた社会を実現してまいります。

株式会社NTTデータ

〒135-8671 東京都江東区豊洲 3-3-9 豊洲センタービルアネックス
Tel: 050-5546-2308

NTT DATA Technology Foresight お問い合わせ先

技術開発本部
www.nttdata.com/jp/ja/insights/foresight/
rdhkouhou@kits.nttdata.co.jp

「NariNAVI®」は、日本国内における成田国際空港株式会社の登録商標です。
その他の商品名、会社名、団体名は各社の商標または登録商標です。

NTT DATA Technology Foresight 2019

技術の将来展望がビジネスの未来を拓く

Information Society Trends

情報社会トレンド 情報社会における近未来の方向性

デジタル化による 主導権シフトが 社会の仕組みを変革する

デジタル化の進展により可視化可能な対象が増え、その制御の主導権は新たな主体によりリードされる。デジタルとフィジカル、国境、産業の垣根を越えた新たなパワーバランスが形成され、社会の枠組みが変革していく。



IST 01

個の影響拡大が 新たな価値の 源泉を生み出す

個の影響の高まりが、個を意識した社会システムへの転換を促している。個の持つ力、個の持つ情報に寄り添う形の社会デザインが新たな価値を生み出す起点となり、今後の企業および社会の持続的成長の礎となる。



IST 02

技術をもたらす 潜在課題が 意識や行動の変化を促す

恩恵をもたらすテクノロジーは分断や格差といった新たな社会課題を顕在化させる。進化するテクノロジーとの共存に向けた倫理醸成か、ルール導入か、デジタル社会の未来を描くためには意識や行動の変化が求められる。



IST 03

循環視点の連携が 持続可能な 社会を実現する

地球規模課題の解決に向けた活動が、オープンな連携をもたらしている。循環視点の連鎖的な事業戦略、社会環境の再構築が、活動範囲の拡大とリソースの偏在を解消し、新たな事業機会と共に持続可能な社会を創り出す。



IST 04

Technology Trends

技術トレンド 情報社会の発展を牽引する革新的技術の潮流

社会に融合する インテリジェンス

AIの浸透が進む中、実用上の課題も浮き彫りになっている。精度だけでなく、構築・拡張の容易性を向上させる技術の発展がAI活用の幅を広げる。さらに透明性の確保は人々に受け入れられるAIを実現し、社会への融合を加速させる。



TT 01

能動的データ精練と 生成

データがビジネスの成否を決する時代が到来し、玉石混濁なデータから価値あるデータを精練する技術の進化が続く。生成技術の発展も合成データに新たな活用の可能性をもたらそうとしている。データの能動的探求こそが競争力の源泉となる。



TT 02

生命課題への 挑戦

ITは健康増進の枠を超え、医療行為そのものの役割を担い始めた。常時診断を可能にする個人用デバイスの普及が、医療への人・企業の関わり方に革新をもたらす。さらに遺伝子、脳領域へのIT介入が、生命課題への挑戦を本格化させる。



TT 03

ナチュラル インタラクション

機械との会話は日常に溶け込みつつある。機械は人からの指示への対応のみならず、話者の感情やコンテキストを理解しつつ、自発的な対話能力の獲得を目指し進化を続ける。そして機械は人に新たな気付きを与え、人の思考を支援する存在へ昇華していく。



TT 04

空間指向 コンピューティング

現実空間をITに取り込む技術が一般化した。物体の正確なサイズや位置関係が手元に再現されるばかりか、3Dで再構築された空間に入り込むことも出来る。さらに情報の付加や加工を施した空間の活用が、ビジネスを人々の概念を変えていく。



TT 05

コアインフラストラクチャの 躍進

「ムーアの法則」終焉が叫ばれてもシステム高速化の要求は止まない。用途に特化したインフラや、全く新たなコンピュータが要望に応えるべく登場している。企業にはサービス強化を実現する高速なインフラを慎重に選択する技量が要求される。



TT 06

パーソナルデータの 追考

情報の大規模流出や目的外利用が世界的な情報保護の動きを引き起こしている。一方、パーソナルデータの価値が注目され、情報の積極的な流通による活用も求められている。ルールに基づき情報を守り活かすバランスが経済発展の前提となる。



TT 07

デザイン主導サービスの 興隆

連続的改善によりサービスを生み育てるデザインプロセスが企業競争力を支える。企業は柔軟性の高いITを最大限活用して変化を現実のビジネスに繋げる。事業変革をドライブする主役となったサービスが、様々な業態の姿を変えていく。



TT 08